

# 平成28年度 事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日



# 目 次

<b>I. 一般概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II. 事務報告</b> .....	<b>2</b>
<b>1. 基本財産</b> .....	<b>2</b>
<b>2. 会 議</b> .....	<b>2</b>
(1) 評議員会の開催 .....	2
(2) 理事会の開催 .....	2
(3) アドバイザリー会議の開催 .....	3
<b>3. 規程の制定</b> .....	<b>3</b>
(1) 規程の制定 .....	3
<b>4. 事務局機構</b> .....	<b>3</b>
<b>5. 届出・登記事項</b> .....	<b>3</b>
<b>III. 事業報告【公益目的事業】</b> .....	<b>4</b>
<b>1. 普及および振興</b> .....	<b>4</b>
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業） .....	4
(2) 学校スポーツとしての育成 .....	5
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進 .....	6
<b>2. 競技力の向上</b> .....	<b>6</b>
(1) ゲートボール技能認定の実施 .....	6
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業） .....	7
<b>3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催</b> .....	<b>7</b>
(1) 全国大会の開催 .....	7
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援 .....	8
<b>4. 国民体育大会</b> .....	<b>9</b>
(1) 公開競技の実施 .....	9
(2) 第72回国民体育大会（えひめ国体）地域予選大会 .....	10
(3) 公開競技の開催準備 .....	10
(4) 正式競技種目採択のための活動 .....	11
<b>5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘</b> .....	<b>11</b>
(1) アジアゲートボール組織の支援・充実 .....	11
(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業） .....	12

(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）	12
<b>6. 競技規則に関する事</b>	<b>12</b>
<b>7. 指導者の養成</b>	<b>12</b>
(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）	12
(2) 公認指導者の養成	13
<b>8. 審判員の養成および認定</b>	<b>16</b>
(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）	16
(2) 審判員資格試験の実施	16
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施	16
(4) 永年審判員登録者数	17
(5) 国際審判員資格試験の実施	17
<b>9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定</b>	<b>21</b>
<b>10. ゲートボールに関する刊行物の発行</b>	<b>21</b>
<b>11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</b>	<b>21</b>
(1) 功労者等の表彰	21
(2) 各種大会への協力	21
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止	21
(4) 広報事業	24
(5) 会員データシステムの構築・整備	25
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集	25
<b>【参考：各種名簿】</b>	<b>27</b>
別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）	27
別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）	27
別表第3 監事：任期2年（2名以内）	28
別表第4 アドバイザー	28
別表第5 事務局組織図	29
<b>【平成28年度事業報告における附属明細書】</b>	<b>30</b>

## I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及を通じて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい国民生活の形成、活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

平成28年度も、愛好者の減少傾向に対処すべく、「指導内容等のプログラミング・開発」「ゲートボール活動の拠点づくり」「指導者の養成」等、普及につながる事業に力点を置いた。

また、韓国で開催された第7回アジアゲートボール選手権大会に日本代表チームおよび国際審判員を派遣した。

さらに、「アンチ・ドーピング」の啓蒙・普及に努めた。

各事業の詳細については、「Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】」に記載した。

なお、各事業の実施にあたり、日本連合は、都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調している。特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金を支援いただいているほか、日本スポーツ振興センター、スポーツ安全協会の支援をいただき、公益財団法人として社会貢献活動につながる各種普及事業を実施した。

## II. 事務報告

### 1. 基本財産

平成29年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、101,778,000円となっている。

### 2. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会、理事会およびアドバイザリー会議を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

#### (1) 評議員会の開催

##### 1) 平成28年度定時評議員会

- ① 開催日時：平成28年6月28日（火）14:00～15:10
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席評議員8名、欠席評議員1名、出席監事1名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 平成27年度事業報告ならびに財務諸表の承認に関する件
  - 第2号議案 定款変更の承認に関する件
  - 第3号議案 次期評議員の選任に関する件
  - 第4号議案 次期理事及び監事の選任に関する件
  - 第5号議案 常勤理事の退任に伴う退職慰労金の支給に関する件
  - 第6号議案 常勤理事の報酬に関する件

#### (2) 理事会の開催

##### 1) 第12回理事会

- ① 開催日時：平成28年6月10日（金）11:00～11:50
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事7名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 平成27年度事業報告ならびに財務諸表に関する件
  - 第2号議案 平成28年度定時評議員会の開催に関する件
  - 第3号議案 平成29年度本連合主催全国大会の開催地に関する件
  - 第4号議案 平成29年度日本財団等への助成金の申請に関する件

##### 2) 第13回理事会

- ① 開催日時：平成28年6月28日（火）15:30～16:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事10名、欠席理事0名、出席監事1名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 会長及び専務理事、ならびに常務理事の選定に関する件

第2号議案 顧問の委嘱に関する件

第3号議案 その他

3) 第14回理事会

① 開催日時：平成29年3月8日（水）10:58～12:10

② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館

③ 出欠者：出席理事9名、欠席理事1名、出席監事2名

④ 審議事項

第1号議案 平成28年度収支予算の一部補正に関する件

第2号議案 2017年度事業計画ならびに収支予算に関する件

第3号議案 規程の制定に関する件

**(3) アドバイザリー会議の開催**

都道府県加盟団体に1名、学識として1名のアドバイザーを委嘱し、日本連合の今後の事業展開、加盟団体相互の情報交換を目的に年に1回アドバイザリー会議を開催していたが、今年度は開催せず、アドバイザーから書面により意見を徴した。

**3. 規程の制定**

日本連合の今後の事業運営に必要な規程を制定した。

制定した規程（1規程）

正職員転換規程

**4. 事務局機構**

平成29年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員10名である。

**5. 届出・登記事項**

① 内閣府への届出

事業計画、事業報告等 5件

② 日本体育協会への届出

事業計画、事業報告等 2件

③ 日本レクリエーション協会への届出

事業計画、事業報告等 2件

### III. 事業報告【公益目的事業】

#### 1. 普及および振興

##### (1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体の組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

##### 1) 指導内容等のプログラミング・開発

課 題	実 施 内 容
カテゴリ別指導法	① 団体・指導者向け教本「ゲートボールにおける安全管理マニュアル」の作成・配布
	② 審判員の教本「審判員テキスト」の編集 (協力) 立教大学
用具開発・環境整備	● 人工芝用 特注「ゲート・ゴールポール」の開発 (協力) 日本ゲートボール認定用品工業会
広報・IT強化	● 加盟団体ブログの設置／4加盟団体 群馬・千葉・東京・広島 ※延べ14団体が実施中
ゲートボール全般	● 2015年ルール対応版 普及パンフレット「SPARK! (ゲートボールAtoZ)」の作成・配布

##### 2) ゲートボール活動の拠点づくり

“ゲートボールを初めて体験する人やゲートボールをしてみたい人の受入れ先”として、また“ゲートボールをしていない人たちとの接点”として、加盟団体が責任を持って「楽しいゲートボールを提供できる」拠点の整備のための用具支援を行った。主な拠点の領域は以下のとおり。

小学校・ 児童館等	中学校・ 大学等	支援施設	G B 場	老人クラブ	その他	計
40	6	3	8	5	14	76

##### 3) 加盟団体の支援・組織体制の強化

##### (1) 地域連絡会議の実施

(北海道・東北・北信越・北関東・南関東・近畿・中国・四国・九州)

##### ② 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、日本連合の次年度の諸事業への理解促進、業務効率の向上、ゲートボールに関する情報発信等について、日本連合と加盟団体担当者との情報共有、意見交換等を行い、相互理解の促進と組織強化を図った。

- ・期 日：平成29年3月2日（木）・3日（金）
- ・会 場：東京都港区 品川プリンスホテル
- ・参 加 者：加盟団体役職員 36加盟団体 65名

- ・内 容：〔講演：ハラスメントの防止とコミュニケーションの重要性〕  
坂本 直紀 坂本直紀社会保険労務士法人 代表社員  
：加盟団体意見交換

## (2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指すためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

### 1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動(クラブ・同好会)への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、15期目となる平成28年度は、新たに高等学校2校を支援した。

#### ① 第15期 (平成28・29・30年度)

1	星槎国際高等学校 広島学習センター	広島
2	熊本県立天草高等学校 倉岳校	熊本

#### ② 第14期 (平成27・28・29年度)

1	君津市立亀山中学校	千葉
2	広島県立佐伯高等学校	広島

#### ③ 第13期 (平成26・27・28年度)

1	帯広大谷高等学校	北海道
2	千葉県立清水高等学校	千葉
3	徳島県立池田支援学校 美馬分校	徳島
4	佐賀県立佐賀農業高等学校	佐賀
5	クラーク記念国際高等学校 熊本上通キャンパス	熊本

### 2) 第5回全国高等学校ゲートボール選手権大会 (スポーツ安全協会助成事業)

高校生へのスポーツ参加の促進および高等学校におけるゲートボール活動をとおりして全国高等学校体育連盟加盟に向けての更なる活性化を図るため、リレーシオン-3 (3人制) 競技による本大会を昨年度に引き続き開催した。

- ・期 日：平成28年12月10日 (土)
- ・開 催 地：鹿児島県霧島市 まきのはら運動公園 多目的屋内運動場
- ・主 管：鹿児島県ゲートボール協会
- ・参 加 数：14校 (70名)

## ・ 成 績

順位	学 校 名	加盟団体
優 勝	広島工業大学高等学校	広 島
準優勝	出雲西高等学校	島 根
第 3 位	盛岡中央高等学校	岩 手

## (3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーション-2、リレーション-3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では高等学校選手権大会で採用し、普及に努めた。

## 2. 競技力の向上

## (1) ゲートボール技能認定の実施

競技力を向上させるための事業の一環として、平成20年度より導入したゲートボール技能認定事業を継続的に実施した。平成28年度は、1加盟団体で実施し、68名が技能保持者として登録した。

## 1) 加盟団体別の技能認定登録者

加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計	加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計
		1級	2級	3級				1級	2級	3級	
北海道					72	滋 賀					8
青 森					0	京 都					274
岩 手	68	1	15	52	947	大 阪					0
宮 城					126	兵 庫					439
秋 田					7	奈 良					15
山 形					66	和 歌 山					14
福 島					83	鳥 取					0
茨 城					21	島 根					0
栃 木					25	岡 山					0
群 馬					0	広 島					0
埼 玉					69	山 口					0
千 葉					32	徳 島					14
東 京					85	香 川					10
神 奈 川					39	愛 媛					12
新 潟					531	高 知					0
富 山					6	福 岡					148
石 川					0	佐 賀					79
福 井					38	長 崎					31
山 梨					0	熊 本					43
長 野					254	大 分					19
岐 阜					62	宮 崎					19
静 岡					50	鹿 児 島					30
愛 知					0	沖 縄					25
三 重					53	計	68	1	15	52	3,746

**(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）**

競技スポーツとして新しいゲートボールを確立するため、第32回全日本ゲートボール選手権大会（愛媛開催）の全115試合を映像収録し、独自開発したゲートボール専用の分析ソフトを活用して、すべての選手のプレーやチーム戦術等のデータ分析を行った。

また、試験的に専用サイト「ゲートボールTV」を立ち上げ、全試合結果の速報と収集した全試合の動画をネット上で公開し、誰もが、いつでも視聴できる環境整備を行った。

**3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催**

**(1) 全国大会の開催**

1) 文部科学大臣杯 第32回全日本ゲートボール選手権大会

(スポーツ振興基金助成事業)

- ・期 日：平成28年11月5日（土）・6日（日）
- ・開催地：愛媛県松山市 愛媛県総合運動公園 陸上競技場
- ・主管：愛媛県ゲートボール連合
- ・参加チーム：48チーム（288名）
- ・成績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	フェニックス京都	京 都
準優勝	萬燈組	愛 知
第3位	小豆島豊栄	香 川
	埼玉かわせみ	埼 玉

※年齢・性別不問

2) 第31回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：平成28年6月4日（土）・5日（日）
- ・開催地：東京都江東区 江東区夢の島競技場
- ・主管：特定非営利活動法人東京ゲートボール連合
- ・参加チーム：96チーム（543名）
- ・成績

男子クラス（48チーム）			女子クラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	都城友の会	宮 崎	優勝	花みずき	岐 阜
準優勝	小松島	徳 島	準優勝	二木会	沖 縄
第3位	小豆島豊栄	香 川	第3位	松山レディース	愛 媛
	一番星	新 潟		新池	愛 知
	美浜煙樹	和歌山		花組	愛 知

※65歳以上とするが、各チームには65歳未満の競技者2名までが参加できる。

3) 内閣総理大臣杯 第33回全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：平成28年8月27日（土）・28日（日）
- ・開催地：京都府京丹波町 京都府立丹波自然運動公園 陸上競技場

- ・主 管：京都府ゲートボール連合
- ・参加チーム：48チーム（306名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	T K E	新 潟
準 優 勝	大垣心友会	岐 阜
第 3 位	山科フェニックス	京 都
	岐阜羽島	岐 阜
文部科学大臣賞	T K E	新 潟

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチーム構成する。

4) 第21回全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：平成28年7月30日（土）・31日（日）
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：60チーム（431名）
- ・成 績

ジュニア男子1部クラス（16チーム）			ジュニア女子1部クラス（12チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	もんちゃんず	岩 手	優 勝	作新クラブ	栃 木
準優勝	出雲西高校男子A	島 根	準優勝	C L A R K 広島楓	広 島
第 3 位	小豆島豊栄ジュニア	香 川	第 3 位	出雲西高校女子	島 根
	広島楓ジュニア	広 島		青森山田A	青 森
ジュニア2部クラス（32チーム）			※ジュニア1部男子クラス 15歳以上18歳未満の男子 ※ジュニア1部女子クラス 15歳以上18歳未満の女子 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	大垣ジュニア	岐 阜			
準優勝	DoDoフェニックス	京 都			
第 3 位	久慈来内ジュニア	岩 手			
	二戸ジュニア	岩 手			

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開 催 日	参加 チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月16日・17日	25	北斗クラブ(北海道)
東 北	青 森	7月9日・10日	48	B & B(宮城)
北信越	富 山	5月28日・29日	100	志水魁(石川)
北関東	埼 玉	8月20日・21日	64	芝町(群馬)
南関東	神奈川	9月22日	16	千代田クラブ(男子の部・東京)
			16	セブンクラブ(女子の部・東京)

東 海	岐 阜	9月11日	32	片山とおりゃんせ(愛知)
近 畿	奈 良	9月3日・4日	120	梅津(京都)
中 国	広 島	10月22日・23日	40	湯田クラブ(鳥取)
四 国	愛 媛	5月29日	48	観音寺(香川)
九 州	熊 本	11月12日・13日	48	熊本ハッピー(熊本)

## ② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加 チーム数	優勝チーム
東 北	青 森	7月9日・10日	3	青森山田A(青森)

## ③ 地域ミドル大会・社会人大会

地域	開催地	開催日	参加 チーム数	優勝チーム
四 国	香 川	8月7日	12 4	香川C(男子・香川) 水明荘レディース(女子・徳島)
九 州	大 分	8月6日・7日	12	北建ジーンズ(福岡)

## ④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加 チーム数	優勝チーム
東 北	岩 手	9月10日・11日	17	石巻遊友(宮城)

## 2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援することにより、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力の向上を図るとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識の強化を図った。

## 4. 国民体育大会

第71回国民体育大会(希望の郷いわて大会)の公開競技として実施し、各地域における予選会を支援した。

## (1) 公開競技の実施(日本財団助成事業)

第71回国民体育大会[公開競技]ゲートボール競技会

- ・期 日：平成28年9月17日(土)・18日(日)
- ・開催地：岩手県花巻市 日居城野陸上競技場
- ・参加チーム：32チーム(212名)
- ・成 績

男子(16チーム)		女子(16チーム)	
順位	都道府県名	順位	都道府県名
第1位	青森県	第1位	岩手県
第2位	新潟県	第2位	福井県
第3位	埼玉県	第3位	東京都

※ 中学生を含まない平成13年4月1日以前に生まれた者。

※ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

## (2) 第72回国民体育大会（えひめ国体）地域予選大会

北海道		2017年度開催予定		
東北	青森	7月9日・10日	5 5	岩手県（男子の部） 青森県（女子の部）
北信越		2017年度開催予定		
北関東	埼玉	10月15日	16 16	埼玉県（男子の部） 埼玉県（女子の部）
南関東	神奈川	9月22日	16 16	東京都（男子の部） 東京都（女子の部）
東海		2017年度開催予定		
近畿		2017年度開催予定		
中国	広島	10月22日・23日	8 8	島根県（男子の部） 岡山県（女子の部）
四国	徳島	平成29年3月25日	6 6	徳島県（男子の部） 高知県（女子の部）
九州	熊本	10月30日	16 16	大分県（男子の部） 宮崎県（女子の部）
愛媛	開催権	平成29年3月12日	13 10	愛媛県（男子の部） 愛媛県（女子の部）

## (3) 開催準備

公開競技としてゲートボール競技の実施が確定している第72回大会以後の国民体育大会に関し、公開競技実施基準等の確認、今後の開催準備業務スケジュール等について、日本体育協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。なお、国体改革第1期および第2期における国民体育大会の開催地およびゲートボール競技の会場地は以下のとおり。

	回数	開催年	開催地	会場地市町村
第1期	第71回	平成28年	岩手県	花巻市
	第72回	平成29年	愛媛県	松山市
	第73回	平成30年	福井県	若狭町
第2期	第74回	平成31年	茨城県	行方市
	第75回	平成32年	鹿児島県	指宿市
	第76回	平成33年	三重県	未定
	第77回	平成34年	栃木県	未定

#### (4) 正式競技種目採択のための活動

国民体育大会の改革第3期（第78回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本体育協会、都道府県体育協会への働きかけを行った。

### 5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

#### (1) アジアゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）

4年に一度開催される第7回アジアゲートボール選手権大会が大韓民国の南原市で開催され、日本連合はアジアゲートボール組織の支援・充実事業として本大会の運営協力を行った。

##### 1) 第7回アジアゲートボール選手権大会

- ・期 日：2016年10月21日（金）～ 23日（日）
- ・開 催 地：大韓民国南原市 春香村体育公園 総合競技場
- ・主 管：大韓ゲートボール協会
- ・参 加：96チーム（691名）

参加国・地域			チーム数	国際審判員数
1	AUS	オーストラリア	1	
2	CHN	中華人民共和国	32	30
3	HKG	ホンコン・チャイナ	4	
4	INA	インドネシア	7	
5	JPN	日本	16	24
6	KOR	大韓民国	25	43
7	MAC	マカオ・チャイナ	4	
8	TPE	チャイニーズタイペイ	7	12
合 計			96	109

※ 国際審判員を派遣いただいた加盟団体は以下のとおり。

埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、広島、福岡、熊本、鹿児島

##### ・成 績

順 位	チーム名	国・地域
優 勝	SHANDONG／山東省	中華人民共和国
準優勝	YI CHUN JIANGXI／江西省宜春市	中華人民共和国
第 3 位	GIFU／岐阜	日本
	LONGCHENG SHENZHEN／深圳市龍城	中華人民共和国

なお、大会の円滑な運営を図るべく、以下のとおり、主管団体相互の連絡調整のため職員を派遣した。

期間	派遣先	派遣人数
8月10日～13日	大韓民国：水原市・南原市	2名
10月6日～8日	大韓民国：水原市	2名

**(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）**

国際審判員養成のため、職員を派遣した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
インドネシア	9月2日～5日	インドネシアにおける 国際審判員の養成指導	1名

**(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）**

派遣要請のあった国際大会に日本チームおよび国際審判員等の派遣協力を行い、国際親善の促進に努めた。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
イギリス	8月21日～ 29日	イギリス ゲートボール・オープン大会2016参加	15名
インドネシア	10月5日～ 12日	第6回TAFISA2016 ゲートボール大会参加	5名
オーストラリア	11月29日～ 12月6日	NSW州ゲートボール選手権大会参加	9名
韓国	12月12日～ 17日	日韓親善ゲートボール大会参加	48名
ニュージーランド	2月15日～ 20日	ニュージーランド・ ゲートボール親善交流会	11名

**6. 競技規則に関すること**

平成27年4月1日より改正・施行となった公式競技規則に関し、各種事業をつうじてその周知徹底を図った。

**7. 指導者の養成****(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）**

## 1) 全国指導者研修会の開催

普及活動の根幹を担う地域指導者の資質向上および指導者のネットワークの構築を図るため、外部講師を招いて研修会を開催した。

- ・期 日：平成29年3月6日（月）・7日（火）
- ・場 所：東京都港区 品川プリンスホテル
- ・参加者：公認スポーツ指導者ならびに加盟団体役員 53名
- ・内 容：

〔講演：ホスピタリティとは何か〕

久保 亮吾 NPO法人日本ホスピタリティ推進協会 特任講師

〔講演：アンチ・ドーピングの基本について〕

加藤 智子 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会 常務理事

〔研修：ゲートボール活動拠点の拡充（グループワーキング）〕

〔意見交換：ゲートボール界の現状と各地での普及活動〕

2) 加盟団体が実施する指導者研修会への支援

公認ゲートボール指導者を対象とした加盟団体および地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ・期 日：平成28年6月～平成29年3月
- ・場 所：8都道府県
- ・参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ638名
- ・内 容：指導者として必要と思われる講演等
- ・協力講師：栄養士（㈱明治 北日本支社）、スポーツ栄養士、栃木県弓道連盟、  
神奈川県体育協会、高校野球部監督、医師・看護師、消防士

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は、日本体育協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ全般に関する共通科目と専門科目、双方の科目を履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、国民体育大会参加チームの監督には公認指導者資格が必要なことから、引き続き指導者資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

※詳細は、「公認ゲートボール指導者養成講習会・義務研修実施および登録者一覧表」（15ページ）参照

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
埼玉	埼玉県伊奈町	平成28年9月29日～28年12月10日	19
新潟	新潟県佐渡市	平成28年6月6日～28年6月8日	12
福井	福井県鯖江市	平成28年6月25日～28年8月6日	25
長野	長野県松本市	平成28年6月14日～28年6月16日	11
愛知	愛知県豊橋市	平成28年9月6日～28年9月9日	8
鳥取	鳥取県湯梨浜町	平成28年12月10日～29年1月14日	7
岡山	岡山県新見市	平成28年8月23日～28年8月25日	16
福岡	福岡県小竹町	平成28年12月3日～28年12月23日	5
長崎	長崎県諫早市	平成29年2月1日～29年2月3日	11
東北	宮城県蔵王町	平成28年6月10日～28年6月12日	58
合 計			172

※ このほか、日本体育協会の委託事業として、徳島県と鹿児島県が実施し、それぞれ11名、7名が合格となっている。

2) 準指導員の登録者数

平成28年度の準指導員は、新規登録者1名、登録更新者数は2名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新数	累 計
北海道			1
栃 木			1
長 野			1
三 重			2
京 都	1		1

岡	山		2	7
福	岡			1
熊	本	1		1
合	計	2	2	15

## 3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

平成 28 年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は 1,181 名となり、前年度 1,221 名から 40 名の減となった。

## 公認ゲートボール指導者 養成講習会・義務研修等の実施および登録者一覧表

平成29年3月31日

		養成講習会 修了者数	義務研修 対象参加者数	再登録 申請者数	登録者数	性別内訳	
						男性	女性
1	北海道				17	14	3
2	青森	5			9	7	2
3	岩手	8			25	17	8
4	宮城	25	33	1	41	20	21
5	秋田	2			13	7	6
6	山形	8			12	8	4
7	福島	10			10	7	3
8	茨城			1	25	17	8
9	栃木		21	1	31	18	13
10	群馬				19	13	6
11	埼玉	18	76		132	72	60
12	千葉			1	41	24	17
13	東京	1			12	5	7
14	神奈川		20		44	25	19
15	新潟	12	55	1	125	101	24
16	富山	2			10	8	2
17	石川				17	14	3
18	福井	25			17	13	4
19	山梨	1			15	9	6
20	長野	8	140	2	216	154	62
21	岐阜				23	15	8
22	静岡				14	8	6
23	愛知	8	1	1	8	5	3
24	三重				12	9	3
25	滋賀				8	7	1
26	京都				44	26	18
27	大阪				20	7	13
28	兵庫				11	6	5
29	奈良				4	2	2
30	和歌山				17	11	6
31	鳥取	8			1		1
32	島根		8		8	7	1
33	岡山	12	25		35	23	12
34	広島	3			23	13	10
35	山口				2	2	
36	徳島				11	7	4
37	香川				25	15	10
38	愛媛				6	4	2
39	高知				4	4	
40	福岡	4		2	9	8	1
41	佐賀		1	1	3	2	1
42	長崎	11			24	20	4
43	熊本	1			2	1	1
44	大分				14	6	8
45	宮崎				10	9	1
46	鹿児島				9	6	3
47	沖縄				3	3	
合計		172	380	11	1,181	779	402

## 8. 審判員の養成および認定

### (1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催地の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の事前研修会を実施した。

#### 1) 平成28年度「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
東京	上水公園 運動施設	平成28年 5月12日	81名
		5月17日	74名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	平成28年 7月6日	93名
		7月21日	98名
京都	グリーンランドみずほ	平成28年 7月24日	84名
		8月7日	78名
愛媛	愛媛県総合運動公園	平成28年 9月1日 9月23日	80名 100名
岩手	矢巾国民センター	平成28年 5月15日	49名
		7月24日	56名
長崎	諫早市屋内ゲートボール場 国民宿舎 青雲荘	平成28年 6月23日	101名
		8月22日	111名
合 計			1,005名

### (2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成を図るため、加盟団体の協力を得て、各級の審判員資格試験を実施した。

#### 1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備 考
1 級	289	286	39加盟団体で実施
2 級	601	590	42加盟団体で実施
3 級	2,156	2,154	45加盟団体で実施
合計	3,046	3,030	

※詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（18ページ）参照

### (3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、平成28年度の新規登録者数は3,050名、登録更新者数は27,133名となった。

#### 1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合 計
1 級	294	4,796	5,090
2 級	604	4,426	5,030
3 級	2,152	17,911	20,063
合計	3,050	27,133	30,183

※詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」（19ページ）参照

## 2) 登録料免除対象者

ジュニア・ユース世代に対する資格取得の促進のため、登録時に満16歳以上25歳以下の者、または登録時に所定の学校に生徒として在籍している者を対象に、登録料の免除を行った。

対象登録者	1 級	2 級	3 級	合 計
16加盟団体	1	8	178	187

## (4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合 計
新規登録者	7	1	3	11

※永年審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」(20ページ)参照

## (5) 国際審判員資格試験の実施

国際大会に必要な国際審判員を養成するため、国際審判員に関する資格試験・登録・登録更新を実施した。

## 1) 国際審判員登録者数一覧表(日本国内) ※平成28年度に登録完了した者

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数
埼 玉				1
千 葉				1
東 京				4
神 奈 川				5
新 潟				12
富 山				1
合 計				24

## 審判員資格試験実施結果一覧表

平成29年3月31日

		1 級			2 級			3 級	
		新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
1	北海道	2		2	40		40	41	41
2	青森							18	18
3	岩手	7		6	8		6	47	47
4	宮城	18		17	5	1	6	48	48
5	秋田	11		11	24		24	1	1
6	山形	7		7	15		15	14	14
7	福島	7		6	18	6	21	80	80
8	茨城	4		4	20		20	38	38
9	栃木	4		4	10		10	44	42
10	群馬	12		12	11		11	32	32
11	埼玉	4		4	15		15	54	54
12	千葉	2		2	14		14	34	34
13	東京	7		7	28		27	103	103
14	神奈川	7		7	12	1	12	86	86
15	新潟	16		16	9		9	124	124
16	富山	15		15	11		11	22	22
17	石川	7		7	10		10	11	11
18	福井	13		13	32		32	40	40
19	山梨	2		2	9	1	6	26	26
20	長野	29		29	32		32	134	134
21	岐阜	11		11	20		20	63	63
22	静岡	5		5	5		5	24	24
23	愛知	11		11	13	2	15	61	61
24	三重	5		5	10		10	67	67
25	滋賀	9		9	32		32	113	113
26	京都	4		4	21		21	34	34
27	大阪	11		11	22		22	74	74
28	兵庫	2		2	4		4	25	25
29	奈良	4		4	11		11	34	34
30	和歌山				5		5	23	23
31	鳥取	2		2				2	2
32	島根	2		2	22		22	37	37
33	岡山	4		4	9		9	16	16
34	広島	6		6	7		7	40	40
35	山口								
36	徳島	1		1	3		3	136	136
37	香川	8		8	18		18	26	26
38	愛媛								
39	高知							10	10
40	福岡	3		3	1		1	33	33
41	佐賀	14		14	6		6	33	33
42	長崎	2		2	11		11	55	55
43	熊本				1		1	22	22
44	大分				10		10	35	35
45	宮崎				5		5	17	17
46	鹿児島	7		7	19		19	130	130
47	沖縄	4		4	12		12	49	49
合計		289	0	286	590	11	590	2,156	2,154

## 審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

平成29年3月31日

		新規登録者数				登録更新者数				合計
		1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
1	北海道	2	40	41	83	132	119	494	745	828
2	青森			18	18	14	40	110	164	182
3	岩手	6	6	47	59	112	137	694	943	1,002
4	宮城	17	6	48	71	77	70	301	448	519
5	秋田	11	24	1	36	18	23	170	211	247
6	山形	7	15	14	36	120	76	150	346	382
7	福島	6	21	80	107	91	65	539	695	802
8	茨城	4	20	38	62	72	81	257	410	472
9	栃木	4	10	42	56	98	73	299	470	526
10	群馬	12	11	32	55	98	46	164	308	363
11	埼玉	4	15	54	73	230	100	586	916	989
12	千葉	2	14	34	50	74	96	213	383	433
13	東京	7	27	103	137	116	98	591	805	942
14	神奈川	7	12	86	105	148	142	716	1,006	1,111
15	新潟	24	26	124	174	307	315	1,312	1,934	2,108
16	富山	15	11	22	48	97	112	181	390	438
17	石川	7	10	11	28	63	95	85	243	271
18	福井	13	32	40	85	109	148	377	634	719
19	山梨	2	6	26	34	109	94	547	750	784
20	長野	29	32	134	195	372	249	865	1,486	1,681
21	岐阜	11	20	63	94	125	146	430	701	795
22	静岡	5	5	24	34	75	88	352	515	549
23	愛知	11	15	61	87	129	125	567	821	908
24	三重	5	10	67	82	83	105	375	563	645
25	滋賀	9	32	113	154	112	174	726	1,012	1,166
26	京都	4	21	34	59	151	151	566	868	927
27	大阪	11	22	74	107	159	188	699	1,046	1,153
28	兵庫	2	1	25	28	246	215	524	985	1,013
29	奈良	4	11	34	49	79	63	315	457	506
30	和歌山		5	23	28	89	71	169	329	357
31	鳥取	2		2	4	46	18	56	120	124
32	島根	2	22	37	61	105	82	512	699	760
33	岡山	4	9	16	29	105	66	349	520	549
34	広島	6	7	40	53	149	128	401	678	731
35	山口				0	53	62	148	263	263
36	徳島	1	3	136	140	47	57	133	237	377
37	香川	8	18	26	52	91	53	233	377	429
38	愛媛				0		2		2	2
39	高知			10	10	13	7	23	43	53
40	福岡	3	1	33	37	51	48	100	199	236
41	佐賀	14	6	33	53	50	48	394	492	545
42	長崎	2	11	55	68	110	85	375	570	638
43	熊本		1	22	23	8	23	66	97	120
44	大分		10	35	45	57	80	466	603	648
45	宮崎		5	17	22	52	53	153	258	280
46	鹿児島	7	19	128	154	135	97	915	1,147	1,301
47	沖縄	4	12	49	65	19	12	213	244	309
	合計	294	604	2,152	3,050	4,796	4,426	17,911	27,133	30,183

## 審判員級別一覧表

平成29年3月31日

		1 級	2 級	3 級	小 計	永 年 審 判 員			小 計	国 際 審 判 員
						1 級	2 級	3 級		
1	北海道	312	357	1,025	1,694	9	9	4	22	
2	青 森	23	72	192	287	2	2		4	
3	岩 手	236	293	1,471	2,000	6	2		8	
4	宮 城	213	124	687	1,024	19	22	29	70	
5	秋 田	57	54	302	413	2			2	
6	山 形	200	126	387	713	2	1		3	
7	福 島	226	195	1,481	1,902	6			6	
8	茨 城	166	189	702	1,057	1			1	
9	栃 木	203	142	679	1,024	2			2	
10	群 馬	170	77	243	490				0	
11	埼 玉	430	214	1,501	2,145	2	1		3	1
12	千 葉	189	183	558	930	3	2		5	8
13	東 京	260	251	1,456	1,967	4	6		10	20
14	神 奈 川	312	312	1,754	2,378	13	4	1	18	9
15	新 潟	511	493	2,772	3,776	3	1		4	45
16	富 山	218	235	528	981	1		1	2	2
17	石 川	150	154	176	480				0	
18	福 井	272	348	775	1,395	1			1	5
19	山 梨	194	230	1,413	1,837	1		1	2	
20	長 野	774	538	2,163	3,475	2			2	6
21	岐 阜	308	364	1,050	1,722	2	5	2	9	
22	静 岡	237	204	714	1,155	4	2	1	7	
23	愛 知	299	255	1,285	1,839	10	1		11	
24	三 重	174	196	877	1,247	1	1		2	
25	滋 賀	224	381	1,727	2,332	9	4	2	15	2
26	京 都	316	345	1,214	1,875	3	1	1	5	
27	大 阪	362	420	1,634	2,416	5	4		9	
28	兵 庫	283	284	810	1,377				0	
29	奈 良	231	161	694	1,086			1	1	
30	和 歌 山	96	128	418	642	1	4	5	10	1
31	鳥 取	85	53	102	240				0	
32	島 根	239	248	1,144	1,631				0	
33	岡 山	188	159	682	1,029	4			4	2
34	広 島	305	231	873	1,409	5	3	2	10	6
35	山 口	63	70	165	298				0	
36	徳 島	96	117	579	792	1		2	3	6
37	香 川	177	151	497	825				0	6
38	愛 媛	66	44	299	409	8		4	12	
39	高 知	31	18	64	113	3			3	
40	福 岡	126	111	440	677		1		1	3
41	佐 賀	154	148	865	1,167	1			1	1
42	長 崎	224	226	908	1,358	7			7	2
43	熊 本	52	117	370	539			1	1	1
44	大 分	115	216	1,090	1,421				0	
45	宮 崎	118	103	383	604	2	1		3	
46	鹿 児 島	253	319	2,063	2,635	2	3	1	6	2
47	沖 縄	47	44	544	635				0	
		9,985	9,700	41,756	61,441	147	80	58	285	128

## 9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を12社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

## 10. ゲートボールに関する刊行物の発行

競技規則や審判実施要領等の書籍を刊行した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

## 11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。今年度の表彰結果は以下のとおり。

- 1) ゲートボール功労賞 42名
- 2) 健康功労賞 264名
- 3) 審判功労賞 228名

### (2) 各種大会への協力

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

#### 1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第28回さくらんぼゲートボール 全国大会	さくらんぼゲートボール 全国大会実行委員会	山形県 東根市	6月22日～ 23日
第29回発祥の地杯 全国ゲートボール大会	芽室町 芽室町教育委員会	北海道 芽室町	8月27日～ 28日
第29回全国健康福祉祭 ながさき大会(ねんりんピック)	ねんりんピック長崎 2015 平戸市実行委員会ほか	長崎県 平戸市	10月15日～ 17日
第4回山ノ内町観光大使杯 三遊亭円楽ゲートボール大会	山ノ内町観光大使杯三遊亭円 楽ゲートボール大会実行委員会	長野県 山ノ内町	9月27日～ 28日
2016日本の蔵王day三遊亭円楽杯 ゲートボール交流大会	三遊亭円楽杯GB交流大会 実行委員会	宮城県 蔵王町	11月10日～ 11日
第2回北海道ユースゲートボール交流会/ 第2回北海道ユース・ミドル親善GB大会	北海道ユースゲートボール 交流会実行委員会	北海道 芽室町	3月18日～ 19日
第25回小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会実行委員会	香川県 小豆島町	3月4日～ 5日
第21回JLC杯 スーパーゲートボール大会	株式会社 日本レジャーチャンネル	静岡県 伊豆市	3月11日～ 12日

### (3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

#### 1) 調査研究の実施

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。

また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

平成28年度の事故防止事業対象者は80,731名となり、前年度と比較して9,106名減少した一方、見舞金支給件数は前年比1件の増加となった。

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	通 院	入 院	死 亡	見舞金支給額(円)
平成24年度	117,472	125	67	50	8	5,975,000
平成25年度	106,633	106	53	49	4	5,545,000
平成26年度	97,493	85	39	40	6	4,295,000
平成27年度	89,837	81	43	34	4	3,900,000
平成28年度	80,731	82	39	41	2	4,200,000

② ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	計
捻挫・脱臼	6						4			10			10
創 傷	3									3			3
挫傷・打撲	6	1						1		6	2		8
骨 折	18	15					1	9		19	24		43
心臓器障害					2						2		2
脳疾患		1			7	1		1			9	1	10
熱中症					1						1		1
その他	1				2	1		1		1	3	1	5
合計	34	17	0	0	12	2	5	12	0	39	41	2	82

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催（共催）・主管・後援するゲートボール競技大会、およびゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病（既往症）、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故

## 事故防止事業対象者数および事故発生状況一覧表

平成29年3月31日

	対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	通院	入院	死亡
1 北海道	661							
2 青森	463	1	1			1		
3 岩手	2,840	1	1			1		
4 宮城	2,728							
5 秋田	823	3	1	1	1		3	
6 山形	1,147	2	1		1	1	1	
7 福島	2,996	2	2			2		
8 茨城	1,500	1	1			1		
9 栃木	1,760	2	1	1		1	1	
10 群馬	1,192	1	1			1		
11 埼玉	3,395	3	2	1		1	2	
12 千葉	1,310	3	2		1	2	1	
13 東京	1,232							
14 神奈川	3,859	2	2			1	1	
15 新潟	5,952	3	2	1		2		1
16 富山	1,273	1		1			1	
17 石川	576							
18 福井	2,028	3	3			1	2	
19 山梨	2,428	3	2		1	2	1	
20 長野	4,448	8	5	1	2	4	3	1
21 岐阜	2,402	3	2	1		1	2	
22 静岡	1,608							
23 愛知	1,402	1		1			1	
24 三重	1,765							
25 滋賀	3,545	3	2	1		1	2	
26 京都	2,321	1	1				1	
27 大阪	2,410							
28 兵庫	1,785	6	1		5	2	4	
29 奈良	939	1	1			1		
30 和歌山	821	3	3			3		
31 鳥取	325	1		1			1	
32 島根	2,231	1	1			1		
33 岡山	1,254	3	2		1	2	1	
34 広島	2,023	6	1	2	3	1	5	
35 山口	452							
36 徳島	533	2	1	1		1	1	
37 香川	783	1	1			1		
38 愛媛	705							
39 高知	51							
40 福岡	647	1	1			1		
41 佐賀	1,409	3	2		1	2	1	
42 長崎	1,815							
43 熊本	1,576	4	3		1		4	
44 大分	1,543	1		1			1	
45 宮崎	343							
46 鹿児島	2,118	2	2			1	1	
47 沖縄	1,314							
合計	80,731	82	51	14	17	39	41	2

## 2) ドーピング防止活動の協力推進

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に協力いただき、ドーピング防止活動として、アンチ・ドーピング研修会およびアウトリーチプログラム（参加型普及啓蒙活動）を実施した。

### ① アンチ・ドーピング研修会

- ・期 日：平成28年9月16日（金）
- ・場 所：岩手県花巻市 花巻市総合体育館
- ・講 師：JADA協力講師 金子恵美/日本チェアカーリング協会事務局長
- ・参加者：72名
  
- ・期 日：平成29年3月7日（火）
- ・場 所：東京都港区 品川プリンスホテル
- ・講 師：JADA協力講師 加藤智子/(公社)日本ウエイトリフティング協会  
アンチ・ドーピング委員長
- ・参加者：53名

### ② アウトリーチプログラム

- ・期 日：平成28年6月4日（土）
- ・場 所：東京都江東区 江東区夢の島競技場

## (4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」において国内および海外での普及活動状況を随時更新することにより、ゲートボールに関する各種の情報を国内外に発信した。

また、ゲートボール情報誌「ゲートボールNavi」を発行し、事故防止事業対象者に配付することにより、紙媒体での情報提供にも努めた。

さらに、テレビ、新聞等マスコミ各社に対しても、全国大会の告知のほか適宜ニュースリリース等を配信し、ゲートボールの多様な価値と役割、特に地域の活性化や高齢化社会におけるニーズ等を加盟団体と連携し地方紙にも配信し、広く社会にアピールした。

### 1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

平成28年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ・期 間：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
- ・制作配信：株式会社日本レジャーチャンネル
- ・配信方法：スカパーフェクTV！680ch及び  
ケーブルテレビ161局（平成29年3月31日現在）
- ・放送回数：104回（毎週土曜日・日曜日 6:00～6:55）

### 2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ・名称等：ゲートボールNavi2016年号（A4版、縦、カラー、本文30ページ）
- ・発行日：平成29年1月
- ・発行数：85,000部
- ・配付先：見舞金対象者ほか

#### (5) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が管理・運用している審判員、見舞金対象者等の名簿データの一元化を図ることにより、日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、外部業者に委託し、2017年度中の運用開始を目指し、システム構築、データ整備を進めた。

#### (6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金および協賛企業等を募集した。

##### 1) 賛助会員30社（平成29年3月31日現在）

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市堀込町2541
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市島内5330
株式会社サン	新潟県三条市下須頃5-1
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城5-9-14
株式会社シャトル	福井県越前市家久町87-21-1
株式会社ロンウッド	富山県南砺市法林寺518
株式会社本郷	広島県廿日市市木材港北1-4
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里3-12-23
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町1-12-8
有限会社やるき産業	熊本県熊本市南区城南町今吉野1048-2
羽立工業株式会社	静岡県湖西市新所3
株式会社ウシクボ	東京都墨田区東向島6-15-7
井上工業株式会社	兵庫県加東市上滝野1613
東武トップツアーズ株式会社	東京都新宿区西新宿7-5-25
大日本トラベル株式会社	東京都港区新橋5-25-4
東日観光株式会社	東京都中央区築地4-7-5
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区西五反田2-19-3
株式会社日本旅行	東京都中央区日本橋1-19-1
株式会社天賞堂	東京都中央区銀座4-3-9
株式会社かいせい	東京都港区西新橋2-15-3
株式会社恒垂印刷	東京都文京区千石2-4-5
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区西神田3-3-5
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市矢野口3266-1
株式会社サンワ	埼玉県戸田市新曾2002
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区西新橋2-2-4
株式会社イルマックス	東京都墨田区緑2-11-2
株式会社ジェイティービー	東京都品川区東品川2-3-11
株式会社健康プラザパル	東京都中央区新川1-17-21
株式会社エイチ・アイ・エス	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8
株式会社東洋物産	東京都杉並区和田三丁目53-14

## 2) 大会協賛企業

山崎製パン株式会社	東武トップツアーズ株式会社
株式会社シャトル	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー
三井住友トラストカード株式会社	株式会社ジェイティービー
株式会社本郷	株式会社健康プラザパル
名鉄観光サービス株式会社	

## 3) 寄付金

## ①一般寄付

2件、総額650,000円の寄付があり、本連合が実施するゲートボール普及事業に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

## ○個人

酒匂照善

## ○団体

大日本トラベル株式会社

## ②平成28年熊本地震復興支援寄付金

171件、総額11,933,427円の寄付があり、被災地の加盟団体に交付したほか、一部を日本財団の災害復興特別基金に支出した。

(支出明細)

○熊本県ゲートボール連合9,666,284円 (テント等現物支援含む)

○大分県ゲートボール協会 200,000円

○日本財団 2,067,143円

計 11,933,427円

## 【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）

平成29年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
上治丈太郎	一般財団法人日本スポーツツーリズム機構 理事	
久米信行	久米繊維工業株式会社 取締役会長	
小高幹雄	一般財団法人BOAT RACE振興会 会長	
児玉義人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
三遊亭円楽	落語家	
下光輝一	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事長	
中村太一	徳島県ゲートボール協会 会長	
花岡伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 副理事長	
前岡良徹	株式会社日本レジャーチャンネル 代表取締役社長	
前田晃	公益財団法人日本財団 常務理事	
松尾哲矢	立教大学 コミュニティ福祉学部 教授	
望月美佐緒	株式会社ルネサンス 執行役員・新規事業推進部部長	

別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）

平成29年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
小野清子	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
中西由郎	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
佐藤黎子	宮城県ゲートボール連盟 理事長	
菅原悟志	公益財団法人ブルー・アント・グリーンランド財団 専務理事	
南木恵一	一般社団法人とやまライフデザイン研究所 理事長	
花田惇	学校法人青森山田学園 青森山田高等学校 校長	
東野真理子	公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 常務理事・事務局長	
町田光	公益財団法人日本フラッグフットボール協会 専務理事	
若林静子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡邊一利	公益財団法人笹川スポーツ財団 専務理事	

## 別表第3 監事：任期2年（2名以内）

平成29年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
岸 郁子	四谷番町法律事務所 弁護士	
菅井明則	公益財団法人笹川平和財団 常務理事	

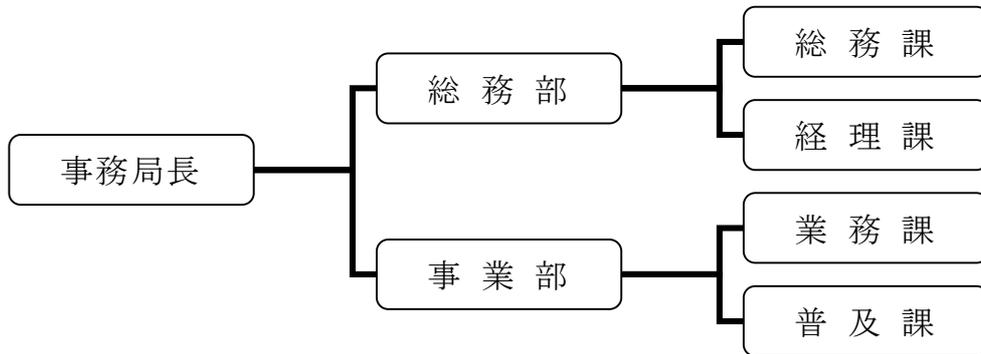
## 別表第4 アドバイザー

平成29年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
五十嵐隆男	北海道 G B 連合	山本 議 照	滋賀県 G B 連盟
久米田勇二	青森県 G B 協会	鈴木 信 久	京都府 G B 連合
谷藤正志	岩手県 G B 協会	橋本 健 吾	大阪府 G B 連盟
宮崎正久	宮城県 G B 連盟	望月 登	(一社)兵庫県 G B 連合
成田成男	秋田県 G B 協会	辻本 隼 夫	奈良県 G B 協会
栢田敏行	山形県 G B 協会	栩野 一 美	和歌山県 G B 協会
石井賢明	福島県 G B 協会	中村孝太郎	鳥取県 G B 協会
石引義男	茨城県 G B 連合会	本田 恭 一	島根県 G B 協会
小口孝夫	栃木県 G B 協会	瀧口 壽 美 男	岡山県 G B 協会
深代栄三	群馬県 G B 協会	政本 隆 延	広島県 G B 連合
元永厚雄	埼玉県 G B 連盟	中田 憲 明	山口県 G B 協会
木内秀昭	千葉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
大澤泰男	(特非)東京 G B 連合	川畑 省 三	香川県 G B 連盟
岡田喜久雄	神奈川県 G B 連合	徳永 和 夫	愛媛県 G B 連合
阿部忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	中村 正 孝	高知県 G B 協会
中林勝信	(特非)富山県 G B 協会	竹中 五 郎	福岡県 G B 連合
安地 博	石川県 G B 協会	古賀 俊 弘	佐賀県 G B 協会
山本竹司	福井県 G B 協会	加藤 敏 夫	長崎県 G B 協会
關本逸兵衛	山梨県 G B 協会	中嶋 利 秋	熊本県 G B 連合
生駒 正	長野県 G B 連盟	小野 悟	大分県 G B 協会
白木正行	岐阜県 G B 連盟	西村 忠 喜	宮崎県 G B 協会
土居征夫	静岡県 G B 協会	山下 真 人	鹿児島県 G B 協会
鈴木克昌	愛知県 G B 連盟	大城 哲 夫	沖縄県 G B 連合
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓 一	学 識

別表第5 事務局組織図

平成29年3月31日現在



## 平成28年度事業報告における附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

2017年5月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

平成29年 5 月 24 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 小 野 清 子

平成28年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成29年 5 月 25 日

監 事 岸 郁 子

監 事 菅 井 明 則